

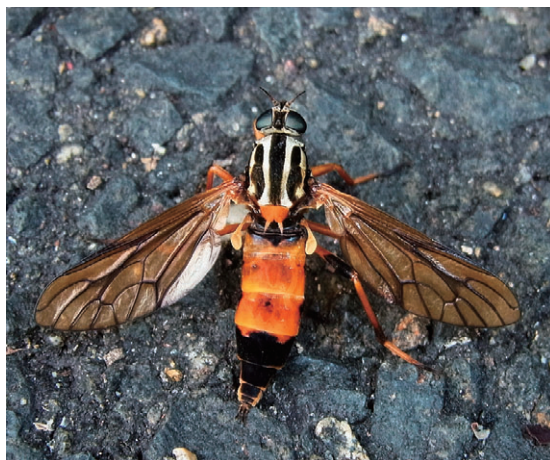
壱岐のシマクサアブまたはその近縁種

境 良朗

大型の美しいアブが葉上に静止していたので撮影を試みたが、弱々しく飛んで地上に降りた。特徴的な胸部背面の縞模様と腹部の橙黄色、茶褐色に色づいた前翅などから簡単に同定できると思ったが難しい属であった。

画像をもとに「九州～奄美大島に分布しているクサアブ科のシマクサアブ *Odontosabula gloriosa* か、その近縁種」であると御教示いただいた（市毛氏、私信）。クサアブ科は7種ほどが知られているが、シマクサアブは前胸背の縞模様と小楯板の後縁の一对の角状突起が特徴となっている。従って、ほぼシマクサアブだと思われるが、ここではシマクサアブ属の一種としておく。

なお、壱岐にシマクサアブが産することは、今坂正一氏が氏のWebサイトで、男岳神社付近で採集したことを報告している（Webサイト①）。



シマクサアブまたはその近縁種

【撮影データ】

シマクサアブ属の一種 *Odontosabula* sp.

・1ex., 7-VI-2018, 壱岐市芦辺町男岳（Ontake）. 撮影

九州の生息地は局限され、いずれの産地でも個体数は極めて少なく、1、2頭が偶然採集されているに過ぎないという（Webサイト②）。また本属は移動性が小さく、集団が分断され、分化途上の状態にあると推測されている（Webサイト③）。長崎県本土の多良岳及び東彼杵郡で得られている個体と形態上の差があるのかどうか興味が持たれる。シマクサアブは長崎県のレッドリストで「NT：準絶滅危惧種」、環境省レッドリスト「DD：情報不足」となっている。

最後になるが、同定の労をとられるとともに日頃より双翅目全般についてご教示いただいている市毛勝義氏、壱岐のシマクサアブの記録についてご教示いただいた松尾照男氏に感謝申し上げます。

引用文献・サイト

長崎県レッドデータブック2011, 2012. 長崎県長崎県環境部自然環境課；196, 長崎新聞社

①Webサイト「今坂正一&E-アシスト」壱岐の調査 その3 山地編

②Webサイト「福岡県の希少野生生物」種の解説 シマクサアブ, 福岡県

③Webサイト「一寸のハエにも五分の大和魂・改」双翅目談話会